



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 永松 浩 クラブ広報委員長 大和 裕武

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1009回例会 平成23年1月20日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話「中津市ふれあい出前講座」

企画課 中津市の目指す将来都市

◎次回例会プログラム ゲスト卓話「東九州龍谷高校」

バレー部 大木総監督



前回(1008回例会)の記録

平成23年1月13日(木)

■ゲスト

なし

■ビジター

なし

■出席報告

会 員 数 25名
免 除 者 数 1名
対 象 者 数 24名
本日出席者 14名
欠 席 者 数 10名
出 席 率 58.33%

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 8名
メイクアップ 5名
欠 席 者 3名
修正出席率 62.50%→ **87.50%**

●メイクアップ

岡野(宇佐八幡)、江淵(中津)、永松(浩)(中津)、
矢頭(中津中央)、岩淵(中津中央)

●欠席者

小路、渡邊、長野(修)

◎ロータリーソング 奉仕の理想

◎会長の時間 会長 青木秀暢

今月はロータリー理解月間でございます。今日は
徽章について少し話をします。

ロータリーの「徽章」とは、我々が通常ロータリー・
バッジと呼んでいるロータリー・マークの襟章のことです。ロータ
リーの徽章は、ロータリアンの権利としてその着用が認められ、
ロータリアンとその家族が着用する襟章に使用することが許されて
います。「バッジ」という言葉は、「RI定款」「RI細則」では、徽
章と区別して使用され、例会場で付ける丸い名札を指しています。

最初のロータリーの徽章は、1905年にシカゴRC会員で、彫刻
家のモンタギュー・M・ベアがデザインした馬車の車輪をかたどっ
た簡単なもので、「文明と運動」を象徴するものでした。最初の頃
は、多くのクラブがこれに少し手を加えたものを徽章として採用し
ていました。1910年に結成されたロータリー全米連合会から加盟
クラブを呼びかけて、1912年の大会で、金色とロイヤルブルーの
歯車を、正式の徽章として制定しました。その後、幅と歯数の変
わり、楔穴(くさびあな)が付けられ、1923年(大正12年)に6
本の幅、24の歯輪および1つの楔穴のある今日の徽章が定められ
ました。



◎幹事報告 幹事 土居孝信

●例会変更 宇佐八幡、豊前西、別府東(各RC)

●週報受理 湯布院RC

●会報受理 中津沖代LC

●報告事項

・豊後高田RC「創立50周年式典」の案内

・中津RC 薬物乱用防止活動「ダメ、ゼッタイ」運動募金 結
果報告

・1/27 会費引き落とし(忘年例会、新年例会、写真代)

◎例会の食事メニュー

ポークカツカレーランチ



◎委員会報告

・クラブ広報委員会 大和委員長

今月号のロータリーの友の紹介を簡単にします。表紙は大山の
「雨水」だそうです。





2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei

2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ地域を育み、
大陸をつなぐ

過冷却になった雨が着地と同時に凍ると出来るそうです。霧氷や樹氷と違って透明になるのが特徴のようです。1月はロータリー理解推進月間という事で特集が組まれております。横組み13ページからロータリー思い出写真館に日本のロータリー 90年の歩みとして古い写真が載っております。18ページに向笠元RI会長の写真もあります。諸先輩の思いが我々の両肩に乗っている思いがします。縦組み12ページに中津RCの福澤さんが川柳を投稿されています。以上簡単に紹介しました。

◎ニコニコボックス 担当：クラブ管理運営委員会

○辛嶋会員

本日は後ほど卓話を担当します。よろしくお願いします。

○二反田会員

週報担当から、週報のプログラムが一週先にずれてるミスがありました。申し訳ありません、訂正願います。

○土居幹事

本年もよろしくお願いいたします。また、今日は、カレーライスを二杯頂きましたので。

○小路会員

今日は、欠席者が多く、残念です。本日は辛嶋会員の卓話ですので、仕事を早々にかたづけて参りました。楽しみにしています。

○岩淵会員

1月16日に60歳、還暦の誕生日を迎えました。まだまだ若く頑張っていきたいと思っています。

◎会員卓話

「ロータリー理解月間」ロータリーについて

辛嶋地区管理運営委員長



●ロータリーとは

- ・ロータリーは人道的奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的基準を守ることが奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人および専門職業人が世界的に結び合った団体です。
- ・簡単にいえば、自分を磨き人を育て、時には慈善行為、ボランティア活動などを行う世界的な団体です。

●ロータリーの綱領 (The Object of Rotary)

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することである。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と平和を推進すること。

↓

- ・「ロータリーの綱領」をわかりやすく翻訳すると
ロータリーの目的は、価値ある企業活動の基礎として奉仕の理念を奨励し育成すること、詳しくは、次の事項を奨励し育成することである。

- 第1 奉仕の機会を得るときには、交友関係を発展させること。
- 第2 社会に奉仕する機会を得るときには、企業と専門職が有する高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、そして、ロータリアン各自の職業を尊厳あるものにする。
- 第3 ロータリアンの一人一人が、個人として、職業人として、地域社会の一員として、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念に結ばれた実業家と専門家の世界的な団体を通して、国際理解・親善・平和を促進すること。

↓

- ・ロータリーの綱領 (目的)
ロータリーの目的は、それぞれの会員の企業活動の根本に奉仕理念をおいて、それを磨き上げることです。

●ロータリーの歴史---ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていた。ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士“ポール・ハリス”はこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えた。ロータリーとは集会所を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものである。こうして1905年2月23日にシカゴ・ロータリー・クラブが誕生した。それからは志を同じくするクラブが、次々各地に生まれ、国境を越えて、今では世界200ヶ国の地域に広がり、クラブ数34,103、会員総数1,227,563人(2010年6月30日RI公式発表)に達している。そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリー(Rotary International, R.I.)という。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んじる実業人、専門職業人の集まりである。その組織が地球の隅々まで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大な貢献をしている。

●日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして国際ロータリーに加盟承認されました。日本でのロータリークラブ設立についてはポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,301、会員数は90,724人(2010年9月末現在)となっています。地区の数は34を数えます。(以下、卓話内容の要旨を記載します)

●世界の会員数【TOP10】---2010年5月31日現在わが国会員数の推移、国際ロータリー第2720地区クラブ会員現況(75クラブ)、2010年5月末会員数(2,477名)

●ロータリーの奉仕理念「奉仕の理想」---“He profits most who serves best” “Service above self”

●四大奉仕 (The Four Avenues Of Service)

●五大奉仕 (The Five Avenues Of Service)

●クラブ奉仕 (クラブ管理) 組織---クラブ運営の原則、理事会運営の原則

●職業奉仕とは---職業奉仕の課題

●社会奉仕プロジェクト---社会奉仕の機会に関する項目、危機下の児童、障害者、保健(医療)

●国際奉仕とは 国際プロジェクト---国際理解と親善、識字能力と計算能力、人口問題、貧困と飢餓、環境保全、都市問題

●新世代(New Generations)青少年プログラム---ライラ (RYLA: Rotary Youth Leadership Awards)、インターアクト(Interact)、ローターアクト(Rotaract)

●世界と日本の会員所属年数、会員年齢の世界と日本の比較、世界のロータリークラブ例会日(2009-10)、世界のロータリークラブ例会時間(2009-10)